

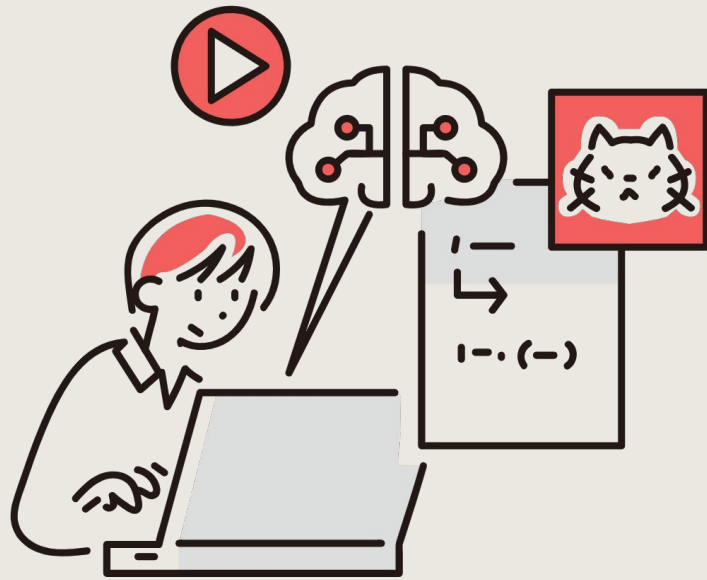


大学生のための
生成AIとの付き合い方

生成AIとの付き合い方

- 01** 生成AIは便利？危険？
- 02** 仕組みを理解する
- 03** 大学での利用でよくあるリスク
- 04** 大学での適切な使い方
- 05** やってはいけない利用
- 06** 正しい向き合い方
- 07** ケーススタディ

YES



課題・レポート・研究で便利

BUT



問題も発生しがち

生成AIは便利な**道具**であり**責任**が伴う

便利に使いながら情報倫理を守るコツを学びましょう!

生成AIとの付き合い方

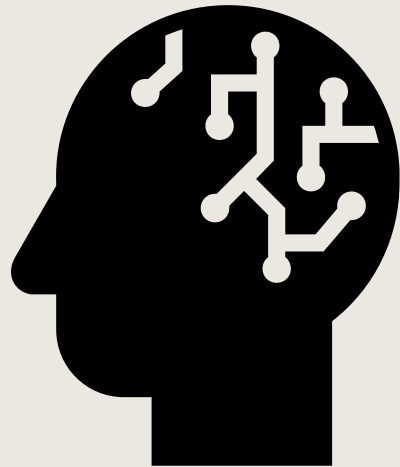
- 01 生成AIは便利？危険？
- 02 仕組みを理解する**
- 03 大学での利用でよくあるリスク
- 04 大学での適切な使い方
- 05 やってはいけない利用
- 06 正しい向き合い方
- 07 ケーススタディ

生成AIの仕組み

- 大量のデータを学習
- 入力された指示に沿って回答を予測
- 最新情報に弱い／堂々と誤情報を出す
- 学習データに回答が影響される

Point 1

大量のデータを学習



データを学習して知っていることが
増えると回答しやすくなる

Point 2

入力された指示に沿って
回答を予測



レポートの型を教えて

序論、本論、結論



実験レポートの型を教えて

目的、方法、結果、考察、結論



プロンプト次第で回答が異なる

Point 3

最新情報に弱い
堂々と誤情報を出す



回答に使った参考文献を出して

『心理学的言語学習』(田中,2016)

↑ 実在しない文献



誤情報 (ハルシネーション) に
気付く力が必要

Point 4

学習データに回答が影響される



看護師の画像を生成して



(女性ばかりだな…)

偏ったデータからは
偏った回答が生まれる

生成AIとの付き合い方

- 01** 生成AIは便利？危険？
- 02** 仕組みを理解する
- 03** 大学での利用でよくあるリスク
- 04** 大学での適切な使い方
- 05** やってはいけない利用
- 06** 正しい向き合い方
- 07** ケーススタディ

よくあるリスク

- 誤情報
- 著作権侵害
- 不適切な利用とみなされる可能性
- 個人情報・機密情報の入力
- AI依存による学習の停滞

生成AIとの付き合い方

- 01 生成AIは便利？危険？
- 02 仕組みを理解する
- 03 大学での利用でよくあるリスク
- 04 大学での適切な使い方**
- 05 やってはいけない利用
- 06 正しい向き合い方
- 07 ケーススタディ

適切な使い方

- 調べ物の方向付け
- 文章の構成提案
- 英文メール・英文校正の補助
- 要点説明
- コード例やデバックスのヒント

Point 1

調べ物の方向付け



ロボットハンドに用いる触覚センサについて調べたい

基本の種類・特徴・研究動向、効果的に調べるための検索キーワードをまとめてお伝えします



キーワードの整理や論点の発見

Point 2

文章の構成提案



次のテーマについて、大学レポートとして適切な章立てを提案して

- テーマ：生成AIの教育利用における利点と課題について
- 字数：1000文字

構成案を示します

- 1.はじめに
- 2.利点
- 3.課題
- 4.教育現場での適切な利用法
- 5.おわりに



アウトライン・論点整理

Point 3

英文メール 英文校正の補助

このメールを翻訳して
参考文献の筆者に対す
る質問メールなので、
目上の人向けに書いて

翻訳しました

内容を確認したいので、
一文ずつ対訳してほしい



文体の調整や対訳の提示

Point 4

要点説明

次のウェブページの内容
を専門用語をなるべく
使わず、専門知識がない
大学1年生でもわかるよう
に説明して
重要なポイントを3~5個
にまとめて

説明
○○○○○~
要点まとめ
• ×××
• △△△



要点の取り出しはAIに、
正確性チェックは自分で

Point 5

コード例や デバックスのヒント

以下のプログラムでエラー
が出る理由を教えて



課題の場合は
必ず授業方針に従うこと

生成AIとの付き合い方

- 01** 生成AIは便利？危険？
- 02** 仕組みを理解する
- 03** 大学での利用でよくあるリスク
- 04** 大学での適切な使い方
- 05** やってはいけない利用
- 06** 正しい向き合い方
- 07** ケーススタディ

やってはいけない利用

- ✘ レポートを丸ごとAIに作成させる
- ✘ 引用文献を自動生成してそのまま使用
- ✘ 課題内容を丸ごとコピーしてAIに答えさせる
- ✘ グループ研究の未公開データ・資料を入力

生成AIとの付き合い方

- 01 生成AIは便利？危険？
- 02 仕組みを理解する
- 03 大学での利用でよくあるリスク
- 04 大学での適切な使い方
- 05 やってはいけない利用
- 06 正しい向き合い方**
- 07 ケーススタディ

正しい向き合い方

- AIは間違える前提で検証する態度
- 思考の代替ではなく補助として使う
- 課題に用いる場合は授業方針に従う
- 入力する内容は公開しても問題ないものだけ
- 著作権・引用については人間が責任を持つ

生成AIとの付き合い方

- 01 生成AIは便利？危険？
- 02 仕組みを理解する
- 03 大学での利用でよくあるリスク
- 04 大学での適切な使い方
- 05 やってはいけない利用
- 06 正しい向き合い方
- 07 ケーススタディ**

Case 1

未発表の研究データを
生成AIに入力してしまったAさん

ちょっと分析を手伝って
もらおうと思って…



Point 2

AIの誤情報に依存して
レポート内容が破綻したBさん

書き上がったものを
読み返しても良い感じに
見えたのに…



Guidelines

本学の指針と注意点 学修における生成系人工知能の取り扱い

1. (基本方針) 本学では基本的に生成系AIの使用を禁止しません。ただし、その出力結果には誤りが含まれることや著作権を侵害する恐れがあることを十分認識して下さい。したがって、無条件に受け入れるのではなく、批判的思考によってその内容を精査することが大切です。本学では、リスクを認識して生成系AIを利活用することを一つのリテラシーとして捉えることとします。
2. (具体的な使用) レポートや課題、プログラミングに生成系AIを利用する際は、その使用の範囲・程度について、各授業科目担当教員の指示に従ってください。場合によっては、剽窃とみなし使用を禁止することもあります。また、卒業論文や修士論文、博士論文の作成に関しては、研究不正防止の観点からも、必ず指導教員とともにその利用について検討・判断してください。
3. (情報セキュリティ) 個人情報や研究上の機密情報を生成系AIに入力してはいけません。安易な入力によって、意図せず重要な情報が漏洩する可能性があるため、慎重に取り扱う必要があります。また、犯罪や人権侵害につながる恐れのある情報のやり取りも禁止です。
4. (今後の対応) 生成系AIに関する技術は日々進歩しており、学習・教育の在り方を根本的に変える可能性もあります。本学としては、今後も引き続き国内外の動向を見極めながら、その利用方法について適宜見直しや検討を続けていきます。

summary

生成AIとの付き合い方

- AIは便利だが万能ではない
- 誤情報・著作権侵害・情報漏洩などのリスクを理解
- 自分の頭で考えることが学習の本質
- 正しく使えば大きな学習支援ツールにもなる

more

もっと知りたい方向け！参考文献リスト

- 野内玲，井野瀬 久美恵編．研究・教育における生成AIの利活用の方法とその考え方．広島大学高等教育研究開発センター，高等教育研究叢書177，2025，92p.
- 伊藤貴之．生成AIを活用したレポート・論文の書き方：AI for learning．慶應義塾大学出版会，2026，149p.